

組織名	東区	区長	斉藤 淑子
組織の目的・方向性	「産業と多様な魅力が調和し、心豊かに暮らせるまち」の実現		
(参考) 関連する総合計画における政策指標*	・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数 ・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合 ・身近な公園について、安心・安全で快適に利用できると思う市民の割合		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

東区組織目標

東区では、新潟市総合計画 2030 及び東区区ビジョンまちづくり計画に基づき、「産業と多様な魅力が調和し、心豊かに暮らせるまち」の実現に向けて取り組みます。

この方針のもと、次の5つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 ものづくりをはじめとする多様な産業の魅力を活用して観光や教育に結び付けていく「産業観光」の進展に向けて、民間事業者をはじめ多様な主体と連携しながら取り組みます。
- 2 地域と連携しながら区民のさらなる防災意識の向上を図ります。
- 3 民生委員・児童委員や地域コミュニティ協議会、社会福祉協議会などの関係機関との連携を一層強化し、住民の福祉ニーズに即した支援を推進します。
- 4 い〜てらす、わいわいひろば、こども創作活動館などの子育て支援施設の運営を通じ、子どもがいきいきと活動できる場、保護者の相談や交流の場として、安心して子育てができる環境を提供します。
- 5 良好な住環境の創出につなげていくため、市民の憩いの場やレクリエーションの場である公園・緑地を、子育て支援・高齢者支援など地域のニーズを反映しながらリニューアルします。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	5
取組結果	1 民間事業者のほか、学生団体、新潟県立大学、新潟大学、金融機関、東区役所の産学官金連携のもと「東区オープンファクトリー」を開催しました。また、区内にある県立北高等学校・東新潟特別支援学校、動く市政教室などと連携し、学生や市民を対象にオープンファクトリーの見学ツアーを行うなど、多様な主体と連携しながら取り組み、東区の魅力発信に努めました。				

	2 自治・町内会などの自主防災組織を対象に防災出前講座を開催し、災害に関する正しい知識の習得と地域防災力の向上に努めました。また、津波発生時の到達予想時間等を記載した東区版の津波ハザードマップを作成し全世帯に配布を行い、発災時の正しい避難行動の周知・啓発を行いました。 3 民生委員協力のもと、75 歳以上の独居や高齢者のみ世帯への見守り訪問により個々の状況を把握し、介護保険や見守り等の必要なサービスにつなげ、地域で孤立せず安心して暮らせるよう支援しました。 4 子育て支援施設の運営とともに、各種講座を通じて子育て世代同士の交流を促進しながら、育児の不安感や孤独感の解消に努めました。 また、情報誌（ままつぶ）の発行や東区こどもまつり、子育て 3 施設を巡るスタンプラリーを開催し、子育て支援施設の周知を行いました。 5 人口減少や少子高齢化の進行などの社会情勢の変化に対応し、地域のニーズを踏まえながら、令和 5 年度に着手した新栗の木緑地のリニューアル事業に継続して取組み、遊具を設置したほか一部の区間に照明灯やフェンスを設置するなど整備を進めました。
今後の方向性	1 「産業観光」の進展に向けて、産学官金連携による「東区オープンファクトリー」の開催を継続支援し、多様な主体と連携しながら「産業のまち東区」の認知度向上と関係人口、交流人口の拡大につなげます。 2 防災講座等を通して、ハザードマップの見方や居住地域の正しい避難行動を学んでいただくとともに、災害に対する日頃からの備えなど防災意識向上の取組みを継続します。 3 民生委員・児童委員や地域包括支援センター等の関係機関と連携し、継続して見守りを行っていきます。 4 事業を通して子育て 3 施設が連携し、東区の強みである子育て施設の情報・魅力発信に努めます。 5 引き続き、地域へ情報提供しながら、新栗の木緑地のリニューアル事業を進めていきます。